



# 管理者ガイド

HP Easy Shell

© Copyright 2014-2019 HP Development Company, L.P.

Citrix、ICA、および StoreFront は、Citrix Systems, Inc. またはその子会社の商標であり、米国特許商標庁およびその他の国において登録されている可能性があります。Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。VMware および Horizon View は米国またはその他の地域における VMware, Inc. の商標または登録商標です。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェア資料、および商業用製品の技術データは、ベンダー標準の商業用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

改訂第 9 版：2019 年 6 月

初版：2014 年 3 月

製品番号：L69884 - 291

## 管理者が入力する構文の例

ユーザー インターフェイスに入力する必要があるテキストは固定幅フォントで示されます。

項目	説明
括弧や波括弧のないテキスト	示されているとおりに入力する必要がある項目
<山括弧内のテキスト>	値を入力する必要があるプレースホルダー。括弧は付けないでください
[角括弧内のテキスト]	オプションの項目。括弧は付けないでください
{波括弧内のテキスト}	1つだけを選択する必要がある項目のセット。波括弧は入力しないでください
	1つだけを選択する必要がある項目の区切り文字。縦線は入力しないでください
...	繰り返しが可能または必要な項目。省略記号は入力しないでください



# 目次

<b>1 お使いになる前に</b> .....	<b>1</b>
サポートされるオペレーティング システム、接続の種類、およびアプリケーション .....	1
HP Easy Shell の入手と起動 .....	2
HP Easy Shell の使用 .....	3
<b>2 構成</b> .....	<b>4</b>
HP Easy Shell の構成の作成 .....	4
ユーザー インターフェイスのカスタマイズ .....	5
ディスプレイの設定 .....	8
アプリケーションの追加 .....	8
Citrix ICA、RDP、または VMware 接続の追加 .....	9
共通の接続設定 .....	10
RDP ファイルのカスタマイズ .....	10
カスタム値の追加 .....	10
カスタム RDP ファイルの使用 .....	10
Citrix StoreFront 接続の追加 .....	11
インターネット サイト、ネットワーク サイト、または Citrix Web インターフェイス サイトの追加 ..	12
カスタムの HP Easy Shell プロファイルの追加 .....	14
<b>3 展開</b> .....	<b>15</b>
事前に構成された Thin Client イメージの展開 .....	15
既存の Thin Client イメージへの HP Easy Shell の展開 .....	15
HP Easy Shell の構成のエクスポートおよび展開 .....	15
<b>4 ヒントおよびベスト プラクティス</b> .....	<b>17</b>
<b>付録 A レジストリによるカスタマイズ</b> .....	<b>18</b>
ユーザー名の表示 .....	18
タイトルのカテゴリ名のカスタマイズ .....	18
HP Easy Shell の起動遅延 .....	18
仮想キーボードのスタイル .....	18
ブラウザの組み込み遅延 .....	19
接続エラーのカスタム メッセージの作成 .....	19
[Internet Explorer]のレジストリ制限 .....	19



# 1 お使いになる前に

HP Easy Shell では、Windows®オペレーティングシステムベースの HP Thin Client をキオスクスタイルで展開するために、接続、Web サイト、およびアプリケーションを構成できます。また、標準ユーザーに表示されるキオスクインターフェイスをカスタマイズしたり、コントロールパネルの特定の設定へのユーザーアクセスを有効または無効にしたりすることもできます。[HP Device Manager] (HPDM) を使用して、構成済みの環境を複数の Thin Client に展開できます。

 **注記:** コントロールパネル設定へのユーザーアクセスを有効にすることによっても、ユーザーはエクスペローラーにアクセスできます。

Thin Client の展開では、多くの場合、Web 閲覧やリモートデスクトップアクセスの環境のような、単一目的または制限された目的を持つ環境をユーザーに提供する必要があります。HP Easy Shell は、標準の Windows インターフェイスを非表示にして、特定のアプリケーションおよび機能へのユーザーアクセスを制限し、ユーザーに変更されないようにシステムをロックすることによって、この種類の Thin Client 展開を簡単に行えるようにします。

 **注記:** このガイドは HP Easy Shell 3.5 以降に適用されます (最新バージョンの入手について詳しくは、[2 ページの HP Easy Shell の入手と起動](#)を参照してください)。

## サポートされるオペレーティングシステム、接続の種類、およびアプリケーション

以下の表では、HP Easy Shell によってサポートされるオペレーティングシステム、接続の種類、およびアプリケーションについて説明します。

項目	説明
オペレーティングシステム	Windows 10 IoT Enterprise Windows Embedded 8.1 Industry Pro Windows Embedded 8 Standard Windows Embedded Standard 7
接続の種類	Web ブラウザー* Citrix® ICA**、StoreFront**、Web インターフェイス** Microsoft® RDP VMware® Horizon View™ (PCoIP、RDP)
アプリケーション	上記のオペレーティングシステムでサポートされている従来のデスクトップアプリケーションが対象です。ただし、利用する前に、デスクトップアプリケーションが HP Easy Shell 上で正しく動作するかテストすることをおすすめします HP Easy Shell では、Windows ストアのアプリはサポートされません

\* HP Easy Shell には、キオスクスタイルの内蔵 Web ブラウザーがあり、標準の Web 閲覧に適した制限された機能を備えています。または、追加の機能が必要な場合は、[Internet Explorer]ブラウザの機能をすべて使用するように Web ブラウザー接続を構成できます。

\*\* Citrix ICA™、StoreFront、および Web インターフェイスの各接続は、別々の方法で作成されます。それぞれの Citrix 接続の種類を作成する場所については、[4 ページの HP Easy Shell の構成の作成](#)を参照してください。

## HP Easy Shell の入手と起動

HP Easy Shell は通常、HP Thin Client にプリインストールされています。[HP ThinUpdate]を使用してダウンロードまたは更新することもできます。

 **注記**：詳しくは、『HP ThinUpdate 管理者ガイド』を参照してください。

HP Easy Shell には以下の 2 つのコンポーネントが含まれています。

- **[HP Easy Shell]**：タイルベースのキオスクスタイルのユーザーインターフェイスで、標準ユーザーは管理者による構成に沿ってアプリケーション、接続、および Web サイトを起動できます。
- **[HP Easy Shell Configuration]**：管理者が標準ユーザーの操作環境を構成するために使用する構成ユーティリティです。

HP Easy Shell を開くには、以下の操作を行います。

- ▲ Windows Embedded Standard 7：【スタート】→【すべてのプログラム】→【HP】→【HP Easy Shell】の順に選択します。

Windows Embedded 8 Standard および Windows Embedded 8.1 Industry Pro：スタート画面で**[HP Easy Shell]**を選択します。

Windows 10 IoT Enterprise：タスクバーの検索ボックスで、「Easy Shell」と入力し、**[HP Easy Shell]**アプリを選択します。

HP Easy Shell の外部から[HP Easy Shell Configuration]を開くには、以下の操作を行います。

- ▲ **[コントロールパネル]**を開き、**[HP Easy Shell Configuration]**を選択します。

 **注記**：標準ユーザーとして Windows にログオンしている場合は、管理者の資格情報を入力するよう求められます。

また、管理者は、HP Easy Shell 内から[HP Easy Shell Configuration]を開いて、標準ユーザーアカウントからログオフしないで構成を変更できます。以下の操作を行います。

1. HP Easy Shell で、**[管理者]**を選択します。
2. [ユーザー アカウント制御]ダイアログを使用して、管理者としてログオンします。
3. 必要に応じて変更を構成して、**[適用]**を選択します。
4. **[終了]**を選択して HP Easy Shell に戻ります。

# HP Easy Shell の使用

HP Easy Shell を使用して標準ユーザー用の環境を構成する一般的な手順は、以下のとおりです。

1. [HP Easy Shell Configuration]ユーティリティを開きます（詳しくは、[2 ページの HP Easy Shell の入手と起動](#)を参照してください）。
2. **【キオスクモード】**を有効にして、標準ユーザー用の環境を構成し（詳しくは、[4 ページの HP Easy Shell の構成の作成](#)を参照してください）、必ず**【適用】**を選択して構成を適用してください。
3. 管理者アカウントから HP Easy Shell を構成している場合は、ログオフし、標準ユーザーとして再度ログオンします。

標準ユーザー アカウントから HP Easy Shell を構成していて、**【管理者】**ボタンを使用して構成ユーティリティに切り替えた場合は、**【終了】**を選択して標準ユーザー インターフェイスに戻ります。

 **注記：** ユーザーの操作環境は管理者アカウントからテストできます。ただし、**【キオスクモード】**設定は管理者アカウントには影響しません。

4. 環境が必要に応じて構成されていることを確認します。必要に応じて構成されていない場合は、[HP Easy Shell Configuration]に戻って追加の変更を行います。
5. 構成は他の Thin Client にも展開できます（詳しくは、[15 ページの「展開」](#)を参照してください）。

## 2 構成

- [HP Easy Shell の構成の作成](#)
- [ユーザー インターフェイスのカスタマイズ](#)
- [ディスプレイの設定](#)
- [アプリケーションの追加](#)
- [Citrix ICA、RDP、または VMware 接続の追加](#)
- [Citrix StoreFront 接続の追加](#)
- [インターネットサイト、ネットワークサイト、または Citrix Web インターフェイスサイトの追加](#)
- [カスタムの HP Easy Shell プロファイルの追加](#)

### HP Easy Shell の構成の作成

以下の表では、[HP Easy Shell Configuration]ユーティリティの各パネルで使用可能な設定について説明します。

パネル	説明
設定	<p>以下を行うことができます</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 特定のユーザーおよびドメイン用のカスタムの HP Easy Shell プロファイルを作成する (<a href="#">14 ページのカスタムの HP Easy Shell プロファイルの追加</a>を参照してください)</li><li>• キオスク モードを有効にする。これにより、標準ユーザーは従来の Windows インターフェイス (デスクトップやタスクバーなど) にアクセスできなくなります</li></ul> <p><b>注記:</b> このグローバル設定は、すべての HP Easy Shell プロファイルのすべての標準ユーザーアカウントに影響します</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• HP Easy Shell プロファイル用のユーザー インターフェイスをカスタマイズする (詳しくは、<a href="#">5 ページのユーザー インターフェイスのカスタマイズ</a>を参照してください)</li><li>• Thin Client 用の再起動スケジュールを設定する</li></ul>
アプリケーション	HP Easy Shell プロファイルにアプリケーションを追加できます ( <a href="#">8 ページのアプリケーションの追加</a> を参照してください)
接続	HP Easy Shell プロファイルに Citrix ICA、RDP、および VMware 接続を追加できます ( <a href="#">9 ページの Citrix ICA、RDP、または VMware 接続の追加</a> を参照してください)
StoreFront	HP Easy Shell プロファイルに Citrix StoreFront 接続を追加できます ( <a href="#">11 ページの Citrix StoreFront 接続の追加</a> を参照してください)
Web サイト	インターネットサイト、ネットワークサイト、および Citrix Web インターフェイスサイトを追加し、HP Easy Shell プロファイル用の初期設定サイトを設定できます ( <a href="#">12 ページのインターネットサイト、ネットワークサイト、または Citrix Web インターフェイスサイトの追加</a> を参照してください)

## ユーザーインターフェイスのカスタマイズ

**【ユーザー設定】**の見出しの下にある設定を使うと、標準ユーザーに対して特定のシステム設定へのアクセスを有効または無効にできます。**【HP Logon Manager】**および**【HP Hotkey Filter】**にすばやくアクセスするには、**【詳細設定】**ボタンを選択します。

 **注記：** **【HP Logon Manager】**について詳しくは、お使いのオペレーティングシステムの管理者ガイドを参照してください。**【HP Hotkey Filter】**について詳しくは、**【HP Hotkey Filter】**の管理者ガイドを参照してください。

**【動作設定】**の見出しの下にある設定を使うと、スマートカードをシステムから取り出したときに行う動作を指定できます。指定可能な動作は、**【ログオフ】**、**【再起動】**、または**【シャットダウン】**です。

以下の表では、**【ユーザーインターフェイス】**の見出しの下にある設定について説明します。

カスタマイズオプションについて詳しくは、[18 ページの「レジストリによるカスタマイズ」](#)を参照してください。

設定	説明
タイル ボタンを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、 <b>【タイル】</b> ボタンがユーザー インターフェイスの右上隅に表示され、ユーザーは構成済みのアプリケーション、接続、および Web サイトにアクセスできます <b>注記：</b> <b>【タイル】</b> ボタンが無効になっている場合、ユーザーは構成済みのアプリケーション、接続、および Web サイトにアクセスできません。アプリケーション、接続、および Web サイトが構成されていない場合は、この設定が有効になっていても <b>【タイル】</b> ボタンは表示されません
アプリケーションを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、ユーザーは、ユーザー インターフェイスの <b>【タイル】</b> パネルにある構成済みのアプリケーションを使用できます
接続を表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、ユーザーは、ユーザー インターフェイスの <b>【タイル】</b> パネルにある構成済みの Citrix ICA、RDP、および VMware 接続を使用できます
StoreFront を表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、ユーザーは、ユーザー インターフェイスの <b>【タイル】</b> パネルにある構成済みの Citrix StoreFront 接続を使用できます
StoreFront カテゴリを有効にする	<b>【オン】</b> に設定すると、 <b>【すべて】</b> 、 <b>【お気に入り】</b> 、 <b>【アプリ】</b> 、および <b>【デスクトップ】</b> の各カテゴリが表示されます
Web サイトを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、ユーザーは、ユーザー インターフェイスの <b>【タイル】</b> パネルにある構成済みのインターネット サイト、ネットワーク サイト、および Citrix Web インターフェイス サイトを使用できます
ブラウザ ボタンを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、 <b>【ブラウザ】</b> ボタンがユーザー インターフェイスの右上隅に表示され、ユーザーは内蔵 Web ブラウザーにアクセスできます
アドレス ボックスを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、内蔵 Web ブラウザー用のアドレス ボックスがユーザー インターフェイスに表示されます <b>注記：</b> この設定は、全画面の <b>【Internet Explorer】</b> ブラウザーには適用されません。全画面の <b>【Internet Explorer】</b> ブラウザーが使用されている場合、内蔵 Web ブラウザーのコントロールは常に無効になります
操作ボタンを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、内蔵 Web ブラウザー用の操作ボタンがユーザー インターフェイスに表示されます <b>注記：</b> この設定は、全画面の <b>【Internet Explorer】</b> ブラウザーには適用されません。全画面の <b>【Internet Explorer】</b> ブラウザーが使用されている場合、内蔵 Web ブラウザーのコントロールは常に無効になります

設定	説明
ホーム ボタンを表示する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、内蔵ブラウザまたは全画面の[Internet Explorer]ブラウザを組み込みモードで使用している場合に、ホーム ボタンがユーザー インターフェイスの左上隅に表示されます (<a href="#">12 ページのインターネットサイト、ネットワーク サイト、または Citrix Web インターフェイスサイトの追加</a>を参照してください)</p> <p><b>注記：</b> [Internet Explorer]ブラウザが全画面になっていても、HP Easy Shell のユーザー インターフェイスに組み込まれていない場合は、ホーム ボタンにアクセスできません</p>
管理者ボタンを表示する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、[管理者]ボタンがユーザー インターフェイスの右上隅に表示され、管理者は[HP Easy Shell Configuration]にアクセスできます</p>
電源ボタンを表示する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、電源ボタンがユーザー インターフェイスの右上隅に表示され、ユーザーは使用可能な設定から選択できます</p>
ロックを許可する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、ユーザーは、電源ボタン用のドロップダウン メニューを使用してコンピューターをロックできます</p>
ログオフを許可する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、ユーザーは、電源ボタン用のドロップダウン メニューを使用して現在のユーザー アカウントからログオフできます</p>
再起動を許可する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、ユーザーは、電源ボタン用のドロップダウン メニューを使用してコンピューターを再起動できます</p>
シャットダウンを許可する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、ユーザーは、電源ボタン用のドロップダウン メニューを使用してコンピューターをシャットダウンできます</p>
仮想キーボード ボタンを表示する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、ユーザーは、ユーザー インターフェイスの左上隅のボタンを使用して仮想キーボードにアクセスできます</p> <p><b>注記：</b> 仮想キーボードのスタイルは、レジストリによって変更できます</p>
レガシー タッチ キーボードを有効にする	<p><b>【オン】</b>に設定すると、タッチ キーボードが表示されないレガシー アプリ (メモ帳など) 用のタッチ キーボードが自動的に表示されます</p>
時刻を表示する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、現在の時刻がユーザー インターフェイスの左下隅に表示されます</p>
デバイス名および IP アドレスを表示する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、コンピューター名および IP アドレスがユーザー インターフェイスの左下隅に表示されます</p>
MAC アドレスを表示する	<p><b>【オン】</b>に設定すると、コンピューターの MAC (Media Access Control) アドレスがユーザー インターフェイスの左下隅に表示されます</p>
タスク スイッチャーを有効にする	<p><b>【オン】</b>に設定すると、ユーザー インターフェイスの右下隅でタスク スイッチャーを使用することができ、ユーザーはタスクをすばやく切り替えることができます</p> <p><b>注記：</b> タスク スイッチャーで[HP Write Manager]アイコンが機能するようにするには、スタートアップ プログラムから HPWFTray.exe を削除する必要があります</p> <p>▲ [HP Write Manager]アプリをスタートアップ プログラムから削除するには、レジストリの <code>HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Windows¥CurrentVersion¥Run</code> から削除します</p> <p>または</p> <p>エントリを削除する代わりに、ファイルの名前を存在しないファイル名にすることができます。たとえば、<code>hpwtftray.exe</code> を <code>hpwtftray123.exe</code> に変更できます。この変更により、エントリを削除する場合と同じ結果になります</p>

設定	説明
恒久的	<b>【オン】</b> に設定すると、タスク スイッチャーが常に表示され、自動的に非表示にはなりません
時刻を表示する	時刻と日付をトレイに表示します
バッテリーアイコンを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、バッテリーアイコンがタスク スイッチャーに表示されます <b>注記：</b> このアイコンは常に読み取り専用です
携帯電話信号アイコンを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、携帯電話信号アイコンがタスク スイッチャーに表示されます <b>注記：</b> このアイコンは常に読み取り専用です
サウンドアイコンを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、サウンドアイコンがタスク スイッチャーに表示されます
サウンドアイコンの操作	<b>【オン】</b> に設定すると、システム音量をタスク スイッチャーのサウンドアイコンから調整できます
無線 LAN アイコンを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、無線 LAN アイコンがタスク スイッチャーに表示されます
無線 LAN アイコンの操作	<b>【オン】</b> に設定すると、無線 LAN 設定をタスク スイッチャーの無線 LAN アイコンから調整できます
書き込みフィルター アイコンを表示する	<b>【オン】</b> に設定すると、書き込みフィルター アイコンがタスク スイッチャーに表示されます
書き込みフィルター アイコンの操作	<b>【オン】</b> に設定すると、書き込みフィルター設定をタスク スイッチャーから調整できます
ネットワークステータス通知を有効にする	<b>【オン】</b> に設定すると、ネットワーク接続やインターネット接続に関する通知が表示されます
HP Easy Shell をセッション中に非表示にする	<b>【オン】</b> に設定すると、HP Easy Shell インターフェイスがアプリケーション、接続、または Web サイトのセッション中に非表示になります
カスタムの背景を有効にする	<b>【オン】</b> に設定すると、指定したイメージファイルがユーザー インターフェイスの背景に使用されます
拡張された背景	<b>【オン】</b> に設定すると、HP Easy Shell で使用されている背景がセカンダリディスプレイに表示されます <b>注記：</b> この設定を有効にするには、 <b>【カスタムの背景を有効にする】</b> を <b>【オン】</b> に設定します
テーマを選択する	このボタンは、ユーザー インターフェイスの色のテーマをカスタマイズできるダイアログ ボックスを開きます

 **注記：****【適用】**を選択して変更を適用し、レジストリに設定を追加します。[HP Easy Shell]の構成のエクスポートについて詳しくは、[15 ページの HP Easy Shell の構成のエクスポートおよび展開](#)を参照してください。

## ディスプレイの設定

ディスプレイのショートカット設定を管理するには、キーボードショートカットの **Win + P** を使用します。

- PC 画面のみ：デスクトップの Thin Client のメインディスプレイ 1 台のみ、およびノートブックの内蔵モニターに表示できます。
- 複製：メインディスプレイに表示されている画像を他のすべてのディスプレイに複製します。
- 拡張：他のディスプレイは、メインディスプレイの拡張です。
- セカンドスクリーンのみ：セカンダリディスプレイのみがオンになっています。

## アプリケーションの追加

1. **[アプリケーション]**パネルで、**[アプリケーション]**タイルを選択します。
2. 必要に応じて、アプリケーションエディターで設定を構成します。

 **注記**：設定の一覧については、以下の表を参照してください。

3. **[OK]**を選択して、アプリケーションの追加を終了します。
4. **[適用]**を選択して、変更を保存します。

アプリケーションは、そのアプリケーションタイル上の対応するボタンを選択することで、編集または削除できます。

以下の表では、アプリケーションエディターで利用できる設定について説明します。

設定	説明
名前	アプリケーションのタイルに表示されるカスタムの名前を指定します
パス	.exe、.com、.bat、.cmd、または.cpl のどれかの種類のファイルへの完全なファイルパスを指定します
引数	コマンドラインの引数を指定できます
起動遅延	自動起動アプリケーションの遅延を秒単位で設定します
カスタムアイコン	アプリケーションのカスタムアイコン (.exe、.png、.jpg、.bmp、.ico) を設定できます
終了動作	アプリケーションを閉じるときに行う動作を設定します ( <b>[なし]</b> 、 <b>[ログオフ]</b> 、 <b>[再起動]</b> 、 <b>[シャットダウン]</b> )
自動起動	有効にすると、ユーザーが Windows にログオンしたときにアプリケーションが自動的に起動します
最大化	有効にすると、アプリケーションを開いたときに自動的に最大になります
再接続	有効にすると、アプリケーションを閉じたときに自動的にアプリケーションが再度開きます <b>注記</b> ：この設定は、 <b>[終了動作]</b> が <b>[なし]</b> に設定されている場合にのみ設定できます
管理者のみ	有効にすると、管理者だけがアプリケーションを使用できます

設定	説明
トラッキングなし	<b>【オフ】</b> に設定すると、アプリが追跡され、緑色のインジケーターによってアプリが有効であることがユーザーに通知されます。 <b>【オン】</b> に設定すると、アプリは追跡されず、緑色のインジケーターがアプリのタイルに表示されなくなります。 <b>【オン】</b> に設定すると、1つのアプリの複数のインスタンスを同時に実行することが可能です
見つからないアプリを非表示	有効にすると、指定されたパスで実行可能ファイルが見つからない場合にアプリのタイルがユーザーに表示されなくなります
ネットワーク接続待機	有効にすると、ネットワーク接続が検出されるまでアプリケーションは自動起動しません。ネットワーク接続の検出中に、 <b>【接続待機中】</b> というメッセージを示す画面が表示されます <b>注記：</b> この設定は、 <b>【自動起動】</b> が <b>【オン】</b> に設定されている場合にのみ設定できます
インターネット接続待機	有効にすると、インターネット接続が検出されるまでアプリケーションは自動起動しません。インターネット接続の検出中に、 <b>【接続待機中】</b> というメッセージを示す画面が表示されます <b>注記：</b> この設定は、 <b>【自動起動】</b> および <b>【ネットワーク接続待機】</b> が <b>【オン】</b> に設定されている場合にのみ設定できます

## Citrix ICA、RDP、または VMware 接続の追加

1. **【接続】**パネルで、追加する接続の種類を選択します。
2. 必要に応じて、接続エディターで設定を構成します。

 **注記：**すべての接続の種類に共通のいくつかの基本接続設定についての説明は、[10 ページの共通の接続設定](#)を参照してください。RDP ファイルのカスタマイズについては、[10 ページの RDP ファイルのカスタマイズ](#)を参照してください。接続の種類によって異なる他の高度な接続設定については詳しくは、Citrix、Microsoft、または VMware が提供するドキュメントを参照してください。

3. **【OK】**を選択して、接続の追加を終了します。
4. **【適用】**を選択して、変更を保存します。

接続は、その接続タイル上の対応するボタンを選択することで、編集または削除できます。

1つのフェイルオーバー接続を1つのプロファイルに割り当てるには、以下の操作を行います。

1. **【接続】**パネルで接続プロファイルを選択して、以前に作成した接続の1つにドラッグします。
2. **【適用】**を選択して、変更を保存します。

 **注記：**プライマリ接続が起動された場合、フェイルオーバー接続は、**【終了動作】**、**【再接続】**、および**【自動起動】**設定にプライマリ接続の設定を継承して使用します。フェイルオーバー接続が手動で起動された場合、これらの設定にフェイルオーバー接続独自の設定を使用します。

## 共通の接続設定

以下の表では、Citrix ICA、RDP、および VMware の接続エディターに共通する接続設定の一部について説明します。

設定	説明
接続の名前	接続のタイトルに表示されるカスタムの名前を指定します
ホスト名	接続のホスト名または IP アドレスを指定します
終了動作	接続を終了するときに行う動作を設定します（ <b>[なし]</b> 、 <b>[ログオフ]</b> 、 <b>[再起動]</b> 、 <b>[シャットダウン]</b> ）
起動遅延	自動起動アプリケーションの遅延を秒単位で設定します
引数	コマンドラインの引数を指定できます
自動起動	有効にすると、ユーザーが Windows にログオンしたときに接続が自動的に起動します
再接続	有効にすると、接続が終了したときに自動的に再接続します <b>注記：</b> この設定は、 <b>[終了動作]</b> が <b>[なし]</b> に設定されている場合にのみ設定できます
ネットワーク接続待機	有効にすると、ネットワーク接続が検出されるまで接続は自動起動しません。ネットワーク接続の検出中に、 <b>[接続待機中]</b> というメッセージを示す画面が表示されます <b>注記：</b> この設定は、 <b>[自動起動]</b> が <b>[オン]</b> に設定されている場合にのみ設定できます
インターネット接続待機	有効にすると、インターネット接続が検出されるまで接続は自動起動しません。インターネット接続の検出中に、 <b>[接続待機中]</b> というメッセージを示す画面が表示されます <b>注記：</b> この設定は、 <b>[自動起動]</b> および <b>[ネットワーク接続待機]</b> が <b>[オン]</b> に設定されている場合にのみ設定できます

## RDP ファイルのカスタマイズ

### カスタム値の追加

HP Easy Shell では、作成した RDP 接続に対応する RDP ファイルが自動的に生成されます。RDP ファイルにカスタム値を追加するには、RDP 接続エディターの**[上級]**タブを使用します。値の種類には、**[s]**（文字列）、**[i]**（整数）、または**[b]**（バイト）を指定できます。

### カスタム RDP ファイルの使用

カスタム RDP ファイルを使用するには、以下の操作を行います。

1. RDP 接続エディターの**[基本]**タブで、**[カスタム RDP ファイル]**オプションを有効にします。
2. RDP ファイルのパスを指定します。

# Citrix StoreFront 接続の追加

 **注記** : StoreFront サーバーに接続されているデバイスには、お使いの StoreFront サーバー用の SSL 証明書をインストールする必要があります。証明書が存在しない場合、HP Easy Shell はサーバーとの通信に失敗する可能性があります。

1. **[StoreFront]**パネルで、**[StoreFront]**タイルを選択します。

2. **[ストアを選択]**ボタンを選択して、ウィザードを使用します。

または

StoreFront の URL のフルパスを**[ストアの URL]**ボックスに入力します。フルパスは、<https://samplestorefrontaddress.net/citrix/thinclient/> のような形式になります。次に、手順 6 に進みます。

 **ヒント** : URL に http://または https://が含まれていない場合は、初期設定で https://になります。

3. StoreFront の URL の基本パスを入力します。基本パスは、<https://samplestorefrontaddress.net/> のような形式で入力する必要があります。次に、**[次へ]**を選択します。

 **ヒント** : URL に http://または https://が含まれていない場合は、初期設定で https://になります。

4. 確認画面が表示されたら、Citrix StoreFront の資格情報を入力して、**[OK]**を選択します。

5. StoreFront のアカウントを選択し、**[次へ]**を選択します。

6. 必要に応じて、接続エディターで設定を構成します。

 **注記** : 設定の一覧については、以下の表を参照してください。

7. **[保存]**を選択して、接続の追加を終了します。

8. **[適用]**を選択して、変更を保存します。

 **注記** : NetScaler もサポートされています。HP Easy Shell は、StoreFront および NetScaler のパスワードの期限が切れた後、これらの更新をサポートします。

StoreFront 接続に関する参考情報を以下に示します。

- 接続は、その接続タイル上の対応するボタンを選択することで、編集または削除できます。
- **[StoreFront]**パネルの下部で、すべての StoreFront 接続が終了したときに行う動作を設定できます。
- StoreFront セッションがアクティブになっている場合は、リソースウィンドウで**[セッションを閉じる]**を選択してセッションを終了できます。

以下の表では、StoreFront 接続エディターで使用できる設定について説明します。

パネル	設定	説明
StoreFront	接続の名前	接続のタイルに表示されるカスタムの名前を指定します
StoreFront	ストアの URL	StoreFront の URL を指定します
StoreFront	起動遅延	自動起動アプリケーションの遅延を秒単位で設定します
StoreFront	終了動作	接続を終了するときに行う動作を設定します ( <b>[なし]</b> 、 <b>[ログオフ]</b> 、 <b>[再起動]</b> 、 <b>[シャットダウン]</b> )

パネル	設定	説明
StoreFront	ログオン方法	<p><b>[ユーザー名とパスワード]</b>、<b>[スマートカード]</b>、または<b>[シングルサインオン]</b>を選択できます</p> <p><b>重要：</b>初期設定では、HP Thin Client で Citrix Receiver のシングルサインオンは有効になっていません。Citrix Receiver のシングルサインオンを有効にする方法については、HP Thin Client のオペレーティングシステムの管理者ガイドを参照してください</p>
StoreFront	ドメイン	ユーザーに対してドメインを非表示にできます
StoreFront	自動ログオンを有効にする	<p>有効にすると、ユーザーが Windows にログオンしたときに HP Easy Shell が StoreFront 接続に自動的にログオンします</p> <p><b>注記：</b>この設定は、ログオン方法が<b>[ユーザー名とパスワード]</b>に設定されている場合のみ使用できます</p>
StoreFront	カスタム ロゴ	StoreFront のログオン ウィンドウに表示するカスタム ロゴ (.exe、.png、.jpg、.bmp、.ico) を入力できます
StoreFront	自動起動	有効にすると、ユーザーが Windows にログオンしたときに接続が自動的に起動します
オプション	接続タイムアウト	StoreFront が応答しない場合に HP Easy Shell が接続を終了するまでに待機する時間 (秒) を指定します
オプション	Desktop Viewer ツールバー	有効にすると、StoreFront 用のデスクトップセッションが公開されている間、Citrix Desktop Viewer ツールバーが表示されます
オプション	リソースの操作を無効にする	有効にすると、自動起動のリソースが起動しますが、ユーザーが StoreFront リソースを操作することはできません
オプション	リソースのタイトル	接続の開始時に自動的に起動される特定の StoreFront リソースを設定できます
動作	ネットワーク接続待機	<p>有効にすると、ネットワーク接続が検出されるまで StoreFront 接続は自動起動しません。ネットワーク接続の検出中に、<b>[接続待機中]</b>というメッセージを示す画面が表示されます</p> <p><b>注記：</b>この設定は、<b>[自動起動]</b>が<b>[オン]</b>に設定されている場合のみ設定できます</p>
動作	インターネット接続待機	<p>有効にすると、インターネット接続が検出されるまで StoreFront 接続は自動起動しません。インターネット接続の検出中に、<b>[接続待機中]</b>というメッセージを示す画面が表示されます</p> <p><b>注記：</b>この設定は、<b>[自動起動]</b>および<b>[ネットワーク接続待機]</b>が<b>[オン]</b>に設定されている場合のみ設定できます</p>

## インターネットサイト、ネットワークサイト、または Citrix Web インターフェイスサイトの追加

1. **[Web サイト]**パネルで、**[Web サイト]**タイトルを選択します。
2. 必要に応じて、Web サイトエディターで設定を構成します。

 **注記：**設定の一覧については、以下の表を参照してください。

3. **[OK]**を選択して、Web サイトの追加を終了します。
4. **[適用]**を選択して、変更を保存します。

Web サイトは、その Web サイト タイル上の対応するボタンを選択することで、ホーム サイト（プログラムが開始したときに自動的に起動する初期設定サイト）として設定したり、編集したり、削除したりできます。

以下の表では、Web サイト エディターで利用できる設定について説明します。

 **注記** : Citrix Web インターフェイス接続ではシングルサインオンはサポートされません。

設定	説明
名前	接続のタイルに表示されるカスタムの名前を指定します
アドレス	Web サイトのアドレスを指定します
Internet Explorer を使用する	有効にすると、Web サイトが[Internet Explorer]で開きます。有効にしないと、Web サイトは HP Easy Shell インターフェイス内で開きます <b>重要</b> : この設定は、Citrix Web インターフェイス接続で有効にする必要があります
全画面の Internet Explorer	有効にすると、[Internet Explorer]が全画面表示で開かれるため、[Internet Explorer]のアドレスバーおよびナビゲーション ボタンにアクセスできなくなります。 <b>[Internet Explorer を組み込む]</b> が無効になっている場合は、HP Easy Shell のユーザー インターフェイスもすべて表示されなくなりますが、タスク スイッチャーは表示されます <b>注記</b> : この設定は、 <b>[Internet Explorer を使用する]</b> が有効になっている場合にのみ有効にできます
Internet Explorer を組み込む	有効にすると、全画面の[Internet Explorer]が HP Easy Shell のユーザー インターフェイスに組み込まれます。この構成では、インターフェイスの上部にあるコントロールにはアクセスできませんが、[Internet Explorer]のアドレスバーおよびナビゲーション ボタンには引き続きアクセスできません <b>注記</b> : この設定は、 <b>[全画面の Internet Explorer]</b> が有効になっている場合にのみ有効にできます
組み込まれた Internet Explorer の終了を許可する	有効にすると、組み込まれた[Internet Explorer]を閉じることができます
ネットワーク接続待機	有効にすると、ネットワーク接続が検出されるまで Web ブラウザーは自動起動しません。ネットワーク接続の検出中に、 <b>[接続待機中]</b> というメッセージを示す画面が表示されます <b>注記</b> : この設定はホーム サイトにのみ影響します
インターネット接続待機	有効にすると、インターネット接続が検出されるまで Web ブラウザーは自動起動しません。インターネット接続の検出中に、 <b>[接続待機中]</b> というメッセージを示す画面が表示されます <b>注記</b> : この設定は、 <b>[ネットワーク接続待機]</b> が <b>[オン]</b> に設定されている場合にのみ設定でき、ホーム サイトにのみ影響します

## カスタムの HP Easy Shell プロファイルの追加

ほとんどの展開環境では、初期設定の HP Easy Shell プロファイルを使用するだけで十分です。ただし、ユーザーおよびドメインによって異なる設定を割り当てる必要がある場合は、カスタムの HP Easy Shell プロファイルを作成できます。初期設定のプロファイルは、カスタムの HP Easy Shell プロファイルに特に割り当てられていないユーザーまたはドメインに使用されます。

カスタムの HP Easy Shell プロファイルを追加するには、以下の操作を行います。

1. **【設定】**パネルで、**【グローバル設定】**の下にあるプロファイルタイルを選択します。
2. プロファイルの名前を入力し、**【追加】**を選択します。
3. 対応するオプションを選択することによって、ユーザーまたはドメインの追加を選択します。

---

 **注記**：ユーザー アカウントを初期設定のプロファイルに追加することはできません。そのプロファイルは、カスタム プロファイルに割り当てられていないすべてのユーザー アカウントに対して自動的に使用されます。

---

4. ユーザー名またはドメイン名を入力し、**【追加】**を選択します。
5. 必要に応じて、他のユーザーおよびドメインを追加します。
6. **【完了】**を選択します。
7. **【適用】**を選択して、変更を保存します。

HP Easy Shell プロファイルは、プロファイル タイル上の対応するボタンを選択することで、名前変更または削除できます。

## 3 展開

この章では、HP Easy Shell を複数の Thin Client に展開するさまざまな方法について説明します。最適な方法は、使い方や環境によって異なります。

 **注記:** 以下の説明はすべて、HPDM を使用して展開する方法です。HPDM について詳しくは、『HP Device Manager 管理者ガイド』を参照してください。

### 事前に構成された Thin Client イメージの展開

HP Easy Shell は、Thin Client イメージ上に構成することによって展開できます。Thin Client イメージはキャプチャされて他の Thin Client に展開されます。イメージを複数の Thin Client に最も効率的に展開するには、HPDM を使用します。HPDM には、イメージをキャプチャおよび展開するためのプリセットテンプレートがあります。

### 既存の Thin Client イメージへの HP Easy Shell の展開

1. 単一のシステムで HP Easy Shell を構成してから、[15 ページの HP Easy Shell の構成のエクスポートおよび展開](#) に示されている手順に沿って構成をレジストリ ファイルとしてエクスポートします。
2. レジストリ ファイルを、[HPDM Console] を実行しているシステムにコピーします。
3. [HP FTP Software Component Browser] を使用して HP の FTP サイトの HP Easy Shell パッケージを見つけ、パッケージの[\_File and Registry] テンプレートを生成します。
4. テンプレートにサブタスクを追加して、エクスポート済みの構成を含むレジストリ ファイルをインポートします。
5. テンプレートを対象の Thin Client に展開します。

### HP Easy Shell の構成のエクスポートおよび展開

HP Easy Shell の構成は Windows レジストリ ファイルとしてエクスポートできるので、その他の Thin Client に簡単に展開できます。

 **注記:** HP Easy Shell が各 Thin Client に同時に展開されている、またはすでにインストールされていることを確認します。

HP Easy Shell の構成をレジストリ ファイルにエクスポートするには、以下の操作を行います。

1. [HP Easy Shell Configuration] ユーティリティの左下隅の[エクスポート] ボタンをクリックします。
2. エクスポート先のフォルダーを選択し、構成の名前を入力します。
3. [保存] をクリックします。

 **注記** : HP Easy Shell の構成は、以下を管理者のコマンドプロンプトに入力してレジストリ ファイルにエクスポートすることもできます (ファイルパスにスペースが含まれている場合は、必ずそのファイルパスを二重引用符で囲んでください)。

```
hpeasyshell.exe /export "<レジストリ ファイル>.reg"
```

レジストリ ファイルは、HPDM の[\_File and Registry]テンプレートにインポートできます。その後、テンプレートを使用して構成を対象の Thin Client に展開できます。

以下のどちらかの方法で、エクスポート済みレジストリ ファイルをその他の Thin Client に展開することもできます。

- レジストリ ファイルを別の Thin Client にコピーし、レジストリ ファイルをダブルクリックして設定を適用する。
- グループ ポリシーを使用し、特定ドメインのユーザーにレジストリ設定を伝達する。

## 4 ヒントおよびベストプラクティス

HP Easy Shell を使用するときは、以下の点に注意してください。

- 一部のアプリケーションを適切に機能させるには、起動遅延が必要となることがあります。
- [Internet Explorer]を自動起動アプリケーションとして設定するときは、オペレーティングシステム（32 ビットまたは 64 ビット）に最適なバージョンを起動します。最適なバージョンを起動しないと、セッション終了時の操作が開始されないことがあります。
- HP Easy Shell では内蔵 Web ブラウザーのコンテンツがフィルタリングされません。Web サイトを選択するときは、この点に注意してください。以下を使用すると、Web ブラウザーをさらに制限できます。
  - グループポリシー
  - [Internet Explorer]のレジストリ制限（詳しくは[19 ページの\[Internet Explorer\]のレジストリ制限](#)を参照してください）

Web ブラウザーをイントラネット専用にする場合は、アドレスバーを無効にして[サイト]メニューにリンクを追加してください。

- ICA および RDP の接続エディターで使用可能なデスクトップ解像度設定は、ターゲット モニターを示しません。初期設定（全画面表示）を使用することをおすすめします。
- RDP 接続では、キオスク モードで展開する場合に、接続エディターの[表示]パネルの[RDP 接続バー]設定を無効にすることをおすすめします。この設定は初期設定で有効になっており、ユーザーは接続バーを使用してローカルデスクトップにアクセスできます。
- VMware Horizon View クライアントがインストールされている場合に RDP 接続で USB リダイレクトを使用するには、RDP セッションに接続する前に、まず VMware Horizon View USB サービスを無効にする必要があります。
- 管理者アカウントにログオンしたときに、(Windows の) ユーザー アカウント制御および (HP Easy Shell の) キオスク モードが有効になっている場合、コンピューターに変更を加えるためのアクセス権があるかどうかを尋ねる[ユーザー アカウント制御]ダイアログが表示されます。【いいえ】を選択すると、Windows は HP Easy Shell によるシェル置き換えを許可せず、ログオンプロセスは停止します。この現象が発生したら、**Ctrl + Alt + Del** キーを押して、アカウントからログオフしてください。ログオンプロセスを正常に実行するには、[ユーザー アカウント制御]ダイアログで【はい】を選択する必要があります。

# A レジストリによるカスタマイズ

HP Easy Shell の動作および設定は、レジストリによって詳細にカスタマイズできます。

## ユーザー名の表示

ユーザーのユーザー名を表示するには、以下の操作を行います。

- ▲ レジストリで、以下の文字列キーと値の組み合わせを作成します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\HP\HP Easy Shell\UI
DisplayUsername=True
```

## タイトルのカテゴリ名のカスタマイズ

カテゴリの名前は、レジストリによって変更できます。文字列キーと値の組み合わせ `DisplayName` を作成する必要があります。

カテゴリ名を変更するには、以下のレジストリキーを変更します。

- [HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\HP\HP Easy Shell\Apps]  
  DisplayName=Applications
- [HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\HP\HP Easy Shell\Connections]  
  DisplayName=Connections
- [HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\HP\HP Easy Shell\StoreFront]  
  DisplayName=StoreFront
- [HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\HP\HP Easy Shell\Sites]  
  DisplayName=Websites

## HP Easy Shell の起動遅延

文字列キーと値の組み合わせを作成して、HP Easy Shell の起動を遅延できます。一部のアプリがキオスクモードで起動するときに発生する可能性のあるエラーを解決するために、5 秒程度遅延させることをおすすめします。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\HP\HP Easy Shell]
DelayStart=5
```

## 仮想キーボードのスタイル

仮想キーボードのスタイルは、レジストリで文字列キーと値の組み合わせを作成することで変更できます。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\HP\HP Easy Shell]
VirtualKeyboardStyle=1
```

指定できる値は 0 または 1 です。

## ブラウザの組み込み遅延

組み込みブラウザ ウィンドウのサイズが正しく変更されない場合は、以下の文字列キーと値の組み合わせを作成して、ブラウザ ウィンドウの組み込みを遅延します。

```
[HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\HP\HP Easy Shell\Sites]
```

```
EmbedDelay=2
```

指定できる値は2以上です。

初期設定値は2です。値を大きくすると、組み込みを遅延できます。

## 接続エラーのカスタムメッセージの作成

管理者は接続が失敗した場合のカスタムエラーメッセージを作成できます。

- ▲ レジストリ キー `HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\HP\HP Easy Shell\protocols` には、初期設定の接続プロトコル用のサブキーとして、CitrixICA、RDP、およびVMwareが含まれます。サブキーを指定して、「ErrorMessage」という名前の文字列キーと値の組み合わせを作成します。データには、表示するテキストを入力します。

たとえば、RDP用にカスタムエラーメッセージを作成するには、次のように入力します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\HP\HP Easy Shell\protocols\RDP
```

```
ErrorMessage=管理者に問い合わせてください。
```

## [Internet Explorer]のレジストリ制限

内蔵 Web ブラウザーおよび全画面の[Internet Explorer]ブラウザを制限するには、以下のレジストリキーを変更します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Policies\Microsoft\Internet Explorer  
\Restrictions
```

以下の表では、HP Easy Shell に適用されるレジストリ設定について説明します。

NoSelectDownloadDir	[ファイルのダウンロード]ダイアログボックスの <b>【保存】</b> コマンドを無効にします
NoBrowserContextMenu	ブラウザで右クリックすると表示されるコンテキストメニューを無効にします
NoViewSource	右クリックすると表示されるコンテキストメニューの <b>【ソースの表示】</b> コマンドを無効にします
NoOpeninNewWnd	右クリックすると表示されるコンテキストメニューの <b>【新しいウィンドウで開く】</b> コマンドを無効にします <b>重要</b> ：新しいウィンドウを開くようにコーディングされているリンクは、新しいウィンドウで開きます
NoPrinting	<b>【印刷】</b> コマンドを無効にします